

第 36 回 放射線遮蔽設計規程検討会 議事録（案）

1. 開催日時：2025 年 07 月 30 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分

2. 開催場所：一般社団法人 日本電気協会 4 階 D 会議室 （Web 併用会議）

3. 出席者：（順不同，敬称略）

出席委員：森谷主査(東京電力 HD)，渡邊副主査(三菱重工業)，岩本(九州電力)，
大場(北陸電力)，香川(電源開発)，神野(日本原子力発電)，
鈴木^裕(東芝エネルギーシステムズ)，鈴木^麻(中部電力)，寺西(関西電力)，
鍋田(北海道電力)，橋本(日立 GE ヘルパルニュークリアエナジー)，三島(四国電力)
湯浅(東北電力) (計 13 名)

代理出席：中島(富士電機，皆川委員代理)，植村(中国電力，南委員代理) (計 2 名)

欠席者：なし (計 0 名)

常時参加者：なし (計 0 名)

説明者：工藤(MHI NS エンジニアリング) (計 1 名)

オブザーバ：なし (計 0 名)

事務局：原，山崎(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

資料 36-1 第 35 回放射線遮蔽設計規程検討会議事録（案）

資料 36-2-1 第 36 回放射線遮蔽設計規程検討会資料

資料 36-2-2 原子力規格委員会中間報告ご意見対応表（第 36 回検討会向け）

資料 36-2-3 JEAC4622 所管検討会レビューコメント対応表（第 36 回検討会向け）

資料 36-2-4 中間報告からの修正前後比較表（第 36 回検討会向け）

資料 36-2-5 原子力発電所放射線遮蔽設計規程 JEAC4615-202X（第 36 回検討会向け）

資料 36-2-6 JEAC4615 改定案最新知見反映状況（第 36 回検討会向け）

資料 36-3-1 誤記等チェックについて

資料 36-3-2 誤記チェックリストおよび文章・用語等チェックリスト

資料 36-3-3 誤記等チェックコメントリスト

参考資料-1 放射線遮蔽設計規程検討会 委員名簿

参考資料-2 第 35 回で頂いた検討会委員のご意見

参考資料-3 原子力規格委員会中間報告資料等一式

参考資料-4 JEAC4622 所管検討会とのやり取り一式

5. 議 事

事務局から、本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する、法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、森谷主査の開催挨拶があり、その後議事が進められた。

(1) 代理者承認、会議定足数確認、オブザーバ等承認、配付資料の確認

事務局から、配付資料の確認の後、代理出席者 2 名の紹介があり、分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき、主査の承認を得た。確認時点で、出席委員は 15 名であり、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく、決議条件である委員総数の 3 分の 2 以上の出席者数を満たしていることを確認した。その後説明者 1 名の紹介があった。

(2) 前回議事録（案）の確認

事務局から、資料 36-1 に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、正式議事録として承認された。

(3) JEAC4615 の改定について

森谷主査、渡辺副主査より、資料 36-2 シリーズに基づき、原子力規格委員会中間報告で出されたご意見、及び、JEAC4622 所管検討会レビューコメント等の対応について説明があった。主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ PWR の事故時の遮蔽体として補助遮蔽について、PCCV のプラントは分かり易いが、鋼製 CV(鋼製格納容器)のプラントではどのようなのか改めて解説してほしい。
- 規格案(資料 36-2-5)の P.12「3.2.2 遮蔽体の種類」の注記に「一つの遮蔽体が複数の機能を担う場合は、遮蔽体の名称と機能が一致しない場合がある。」と記載した。これより、PCCV ではアニュラスの補助遮蔽が必要であるが、鋼製格納容器では外部遮蔽が補助遮蔽の役割を担うと解釈していただければ良い。(詳しくは、「解説 3-14 補助遮蔽 (PWR)」参照)
- ・ 「2.今後のスケジュール」(資料 36-2-1 の P.4)についての補足。「上程」後、分科会、委員会それぞれ 30 日以内の書面投票があり、ご意見があれば対応することになる。「公衆審査」後の「発行」は「成案」である。発刊準備があるため、「発刊(発行)」は短くても 3 か月先、6～7 月頃になる。
- ・ 中間報告版から構成が大きく変わっている部分があることから、JEAC4622 所管検討会に再度レビューをしてもらった方が良いのではないかと。実施の有無については、主査、副主査で判断して頂ければよいと思う。
- ・ 規格案(資料 36-2-5)は上程時には、変更箇所を示す赤字は黒字にしてほしい。本文に赤字の記載を行っている規格もあるため、その記載との混同を避けるためである。なお、変更箇所の識別は修正前後比較表で分かるようにしておけば良い。

事務局より、資料 36-3 シリーズ 4 に基づき、上程前誤記等チェックについて説明があった。主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 規格本文を一気通貫して読んでチェックをお願いしたい。
- ・ チェックリスト、コメントリストの作成・提出については、別途メールで依頼する。

(4) その他

- ・ 次回については、JEAC4615 改定版の分科会/規格委員会への上程，あるいは書面投票の状況を見て必要であれば開催する。

以 上